



「空はるか」



令和4(2022)年10月28日(金)

発行者:白井 基

足をけがした友だちが笑顔で学校で過ごすには?



10月18日(火)に、3年生の総合学習で研究授業を行いました。大見小の先生のほか、市内や観音寺市の先生方も8名参加されました。3年生は緊張した様子でしたが、一生懸命考え発表し、活発な授業になりました。

3年生は総合学習で「福祉」に取り組んでいます。遠足での車いす体験を通して、障がいのある人が暮らしやすい生活環境について考えました。今回の授業では「けがをして松葉づえで登校した友だちが笑顔で過ごすため

にどんなことができるか」を考えました。

グループになって、自分にできることを短冊に書きだし、黒板に張り出しながら、同じ意見をまとめていきました。みんなの考えを出し合い話していくうちに、「自分の考えを押し付けるのではなく、友だちがしてほしいことを聞いて一緒に考えること」の大切さに気づきました。

この授業の後、3年生は学校に車いすが常備されていないことに気づき、何とか学校に車いすを置くことができるか、考えて行動しています。

自分たちで考え、行動したことで学校や社会がよくなることを実感できる学習に深まりそう、この後の展開を楽しみにしています。



聴覚障がい者とのコミュニケーション方法を学習しました

5年生も「福祉」に関する学習を毎年行っています。10月26日(水)には、さぬき福祉



専門学校の先生と生徒さんをお招きし、介護の仕事や聴覚障がい者とのコミュニケーション方法について教えていただきました。聴覚障がい者とのコミュニケーションでは手話や筆談、指文字などがある

ことを知り、すごろくをしながら指文字の練習をしました。初めて習う指文字でしたが、5年生は上手に指で表現して、すごろくを一緒に楽しみながら、理解を深めていました。

「福祉」について3年生や5年生で学んだことが、身の回りの人々を大切にしたり、社会に貢献する活動に繋がったりして、大見っ子が成長していくことを期待しています。